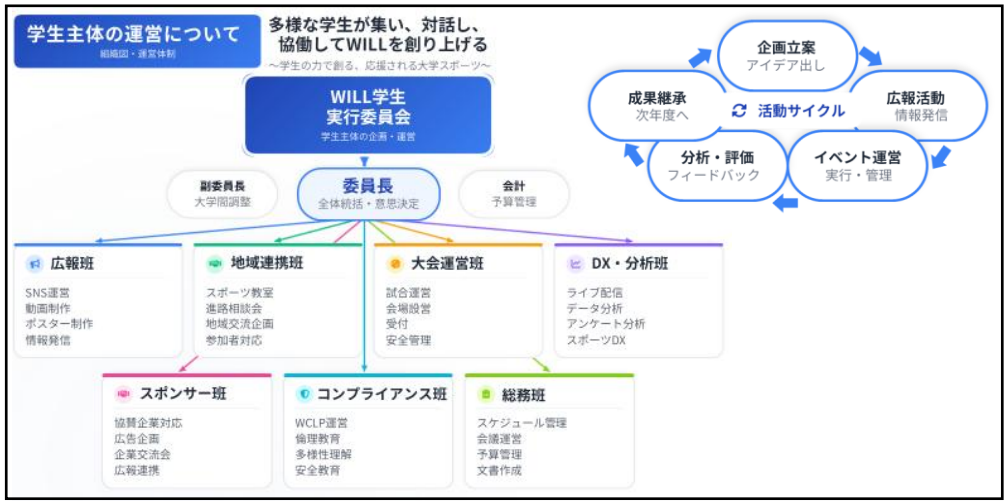
「令和8年度 大学スポーツ総合支援事業」企画提案書（事業概要資料）

①学生主体の運営向上事業［　　大学連携型　　型］

大学名	東京理科大学

実施計画名	**WILLを核とした共創型大学スポーツブランド形成事業 ― 男子ソフトボールから始まる「する・みる・ささえる」大学スポーツ改革 ―**
事業概要	本事業は、全国9大学が参画するWILLを基盤に、「する・みる・ささえる」が循環する“応援される大学スポーツ”の創出を目指す。男子ソフトボールが抱える認知の格差を出発点として、学生主体の大会運営、地域交流、スポーツDX、スポーツ教室等を展開する。さらに、独自のコンプライアンス教育を中核に据え、「競技を支える力」ではなく「人を支える力」を育成することで、社会から信頼される次世代スポーツ人材を育成し、全国へ展開可能な共創型大学スポーツモデルを構築する。そして、日本版アイビーリーグの創成を目指す。

■学生を中心とした企画･運営委員会の概要



■「応援される大学スポーツ」に向けた施策



■主な参加者･想定人数

区分	内容	人数
企画運営（実行委員）	WILL実行委員会スタッフ（公募）	12名
当日運営	同上	12名
参加者（チームスタッフ）	9大学	180名
参加者（チーム以外）	参加9大学のソフトボール部以外の学生	20名
一般参加者	小中学生、近隣住民	50名

■事業の実施体制図（学内体制に留まらず関連する大学や団体等との連携体制も示すこと）

